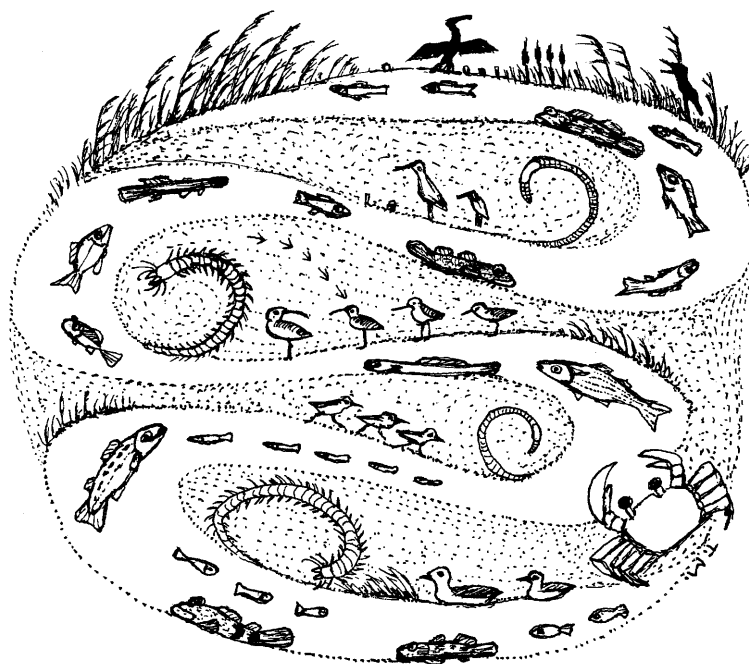


長良川下流域生物相

調査報告書2010

河口堰運用15年後の長良川



長良川下流域生物相調査団



長良川河口堰 下流側より撮影
(写真1)

河口堰による堰下流への影響
長良川と揖斐川



河口堰より撮影した長良川の景観
植物は全く見当たらず
(写真2)



同位置よりカメラを少し右へ振る
画面大半揖斐川のアシ原・ヤナギなどの景観
(写真3)



1991年9月撮影（建設省・国土地理院空中写真）

写真左から、揖斐川、長良川、木曾川

河口より4～11km付近（上が上流）

橋は上流から、東名阪自動車道、関西本線、近鉄名古屋線、国道1号線（伊勢大橋）

伊勢大橋の下流、四角く囲まれているのが河口堰建設現場



1996年5月撮影（建設省・国土地理院空中写真）



2000年10月撮影（国土交通省・国土地理院空中写真）



前報告書掲載 河口堰で消滅するアシ原 (6.2 km地点) 伊勢大橋より撮影
(写真4)



河口堰で消滅したアシ原 (画面右端の植物群落はオギとヤナギ)
同一地点で撮影 (但し、植物群落を取り込むため、少々左へカメラを振る)
(写真5)



旧建設省が復元したアシ原 繁茂しているのはオギやヤナギ
写真5の植物群落を、右岸から撮影
(写真6)

調査光景



(写真7)



(写真8)



(写真9)



(写真10)



河口堰建設前 1990 年の長良川下流域の
景観．伊勢大橋上流のヨシ原と干潟



伊勢大橋上流のヨシ群落
調査．1999年



底泥コア・サンプラーの制作．厚さ約 2 m の底泥柱状
サンプルの採取が可能になり、河口堰下流部の堆積物
の分析が出来た．



イトメの生殖型．2009年11月18日，揖斐川 6.8 km 地点右岸．
雌雄で色が異なる．（第8章）